

甲斐駒ヶ岳・黒戸尾根

山行日：2014.08.21~22

参加者：Ht、Ur、Tu

天候：晴れ

コース：座間/4:00—竹宇駒ヶ岳神社/6:10—笹の平/8:15—黒戸山/10:35—五合目/11:35—七丈小屋/13:20/22日/5:00—八合目/6:00—甲斐駒ヶ岳/7:30/8:10—八合目/9:10—七丈小屋/9:45/10:30—笹平/13:40—竹宇駒ヶ岳神社/15:20



思っていたより、高度感のなかった刃渡り
そしていよいよ梯子です



五合目小屋跡の彼らは長いザイルを持っており、尾白川溪谷を
遡行してきたようで皆達成感であふれた顔だった



キレットの向こうにも長い梯子が控えている



垂直の鎖は
腕力が必要だった

七丈第一小屋
管理人棟、食堂棟
水場は水道から
流れっぱなし
第二小屋で宿泊

布団1枚で一人
で熟睡できた





小屋の管理人、木曜日は週一の麓への買い出し日で不在であったため3時半までビールは待ちぼうけ。

笹平付近で発砲スチロール3箱を背負っていた人が、猛然と駆け下り挨拶もせず駆け抜けていった人が、有名人の管理人であった。10時に出発し16時までにスーパーで買い物をしてポッカしてきたとのこと。こだわりのある人のようなが本来、良い人のような。管理人は3時30分に到着し、受付開始ようやくビールにありつけた。揚げ物は暖かかったが、刺身は凍結しており残念だった。朝食は勘弁して下さいとあたかも当然の如く言われた。



夕日の富士と
鳳凰三山
地藏岳
オベリスク

朝日に浮かぶ
鳳凰三山と
雲海

今日も晴れを
確信する





八合目御来迎場から山頂は後わずかだが、キツイ岩場の連続で気が抜けず



山頂直下から北岳と仙丈岳





北岳、間ノ岳、少し右に塩見岳

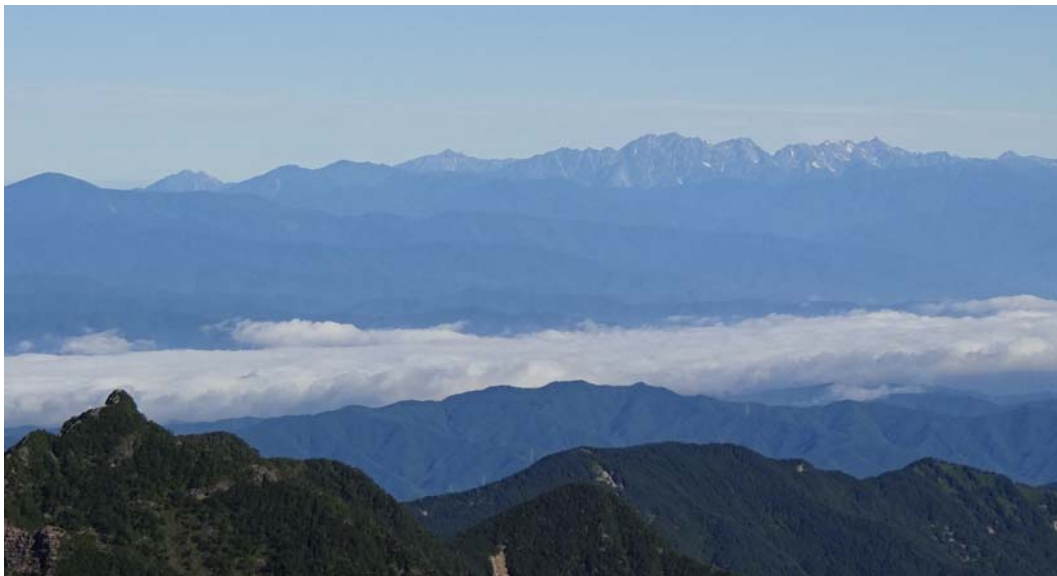


甲斐駒ヶ岳から鳳凰三山への早川尾根と
中央下部に摩利支天

オジンとオバンはやっとこさ、2日がかかりで
山頂にたどり着けた。若者にとっては日帰りコース
夜叉神峠—広河原間は土砂崩れで通行止めとなっ
ており甲府—奈良田經由および戸台からの
コースのみとなっており、よってハイカーは少ない



アップダウンが結構ある
黒戸尾根だが
いまや
トレイルランナー間では
甲斐駒ヶ岳黒戸尾根は
聖地とのことである
登り途中で追い越されて
下り途中で追い抜かれる
大勢走っていた



鋸山の向こうに昨年
歩いた槍、穂高連峰
のキレットコース



高度感抜群な下降コース

7丈小屋でゆっくり一休みしてから麓に下山





垂直の壁だが
鎖と足場はしっかりある



甲斐駒ヶ岳山頂から
一気に高度差 2200m を
下りきる

2カ所ある駒ヶ岳神社のうちの
竹宇駒ヶ岳神社の無事到着